



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月10日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,068	△15.0	284	△47.3	383	2.7	285	179.9
2020年3月期	21,259	△11.5	539	△58.0	372	△71.3	102	△86.1

(注) 包括利益 2021年3月期 1,002百万円 (－%) 2020年3月期 △322百万円 (－%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	86.18	—	2.7	1.4	1.6
2020年3月期	30.79	—	1.0	1.3	2.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	27,810	13,254	38.8	3,257.60
2020年3月期	26,720	12,466	37.8	3,047.91

(参考) 自己資本 2021年3月期 10,796百万円 2020年3月期 10,101百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,093	△1,102	△510	2,591
2020年3月期	2,173	△1,395	△547	2,108

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	165	162.4	1.6
2021年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	66	23.2	0.6
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		27.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,380	10.3	95	△1.7	0	△100.0	△40	—	△12.07
通期	20,460	13.2	710	149.6	570	48.8	300	5.0	90.52

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	3,362,163株	2020年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2021年3月期	47,839株	2020年3月期	47,809株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	3,314,341株	2020年3月期	3,314,380株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	13,105	△20.7	△0	—	174	△70.2	226	17.7
2020年3月期	16,535	△5.4	622	△30.3	586	△39.3	192	△69.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	68.29	—
2020年3月期	58.01	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年3月期	21,412	9,612	9,612	9,612	44.9	2,900.27	2,900.27	
2020年3月期	20,493	9,163	9,163	9,163	44.7	2,764.89	2,764.89	

(参考) 自己資本 2021年3月期 9,612百万円 2020年3月期 9,163百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内外の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で急激に落ち込み、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、2019年度を初年度とする第6次3カ年計画に基づいて、既存事業の収益構造の改革や新たな分野の開拓、製品の開発、財務体質の更なる強化といった取組みを全社一丸となって進めてまいりました。

当連結会計年度の業績は、国内外の需要が落ち込む中、グループ全社をあげてのコスト削減や海外子会社の天津虹岡鋳鋼有限公司と南通虹岡鋳鋼有限公司の選別受注や長期滞留債権の回収により、売上高 180億6千8百万円（前期 212億5千9百万円）、営業利益 2億8千4百万円（前期 5億3千9百万円）、経常利益 3億8千3百万円（前期 3億7千2百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益 2億8千5百万円（前期 1億2百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) 鋳物関連事業

鋳型は、鍛鋼向けが低迷し売上高は、前期を下回りました。ロールは、国内電炉メーカー向けの受注残が売上に寄与したものの、コロナ禍の影響があり売上高は、前期を若干下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、主力カーメーカーの新型開発プロジェクトの受注が活発だった一方、コロナ禍による需要の伸び悩みがあり、売上高は、前期を若干下回りました。大型産業機械用鋳物は、回復基調にあるものの、期前半の不振が響き、売上高は、前期を下回りました。小型鋳物は、公共工事の延期や中止、機械鋳物の減少により、売上高は、前期を下回りました。デンスパーは、緩やかに回復してきているものの期前半の大幅な需要減が影響し、売上高は、前期を下回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、期前半は中国経済の減速の影響がありましたが、その後の現地自動車産業の回復により、売上高は前期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、152億7千万円（前期 174億8百万円）、セグメント利益は、3億2千9百万円（前期 2億6千9百万円）となりました。

2) 環境関連事業

環境装置事業は、東京都八丈町からごみ焼却施設37億円の大口の受注があったものの、業績への寄与は来期以降となり、売上高は、前期を下回りました。この結果、当事業の売上高は、8億4千6百万円（前期 16億5千万円）、セグメント利益は、5千2百万円（前期 2億2千1百万円）となりました。

3) その他の事業

送風機は、鉄鋼向けの大口径案件があったもののコロナ禍の影響を受け、売上高は、前期を若干下回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターや機能材料のKCカーボンセラミックス、KCメタルファイバーは、主要顧客先の需要減退により売上高は、前期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、19億5千1百万円（前期 22億1百万円）、セグメント利益は、1億2千2百万円（前期 1億9千6百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、155億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が4億8千2百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が3億6千3百万円減少したことなどによります。

固定資産は、122億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億8千6百万円増加いたしました。これは、主として投資有価証券が5億5千1百万円、有形固定資産が3億7千万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、278億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9千万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、111億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千9百万円増加いたしました。これは、主としてその他流動負債の前受金が5億2百万円、未払金が4億9千5百万円、短期借入金が2億9千8百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が8億7千2百万円減少したことなどによります。

固定負債は、33億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千7百万円減少いたしました。これは、主としてその他固定負債のリース債務が3億3千5百万円、繰延税金負債が1億7千3百万円増加した一方、長期借入金が5億9千9百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、145億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、132億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億8千8百万円増加いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

この結果、1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ209円69銭増加し3,257円60銭となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の37.8%から38.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べて4億8千2百万円増加し、25億9千1百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、20億9千3百万円の増加(前連結会計年度 21億7千3百万円 増加)となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益3億8千3百万円、減価償却費13億9千4百万円、売上債権の減少7億7千6百万円による資金の増加と仕入債務の減少7億8千2百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、11億2百万円の減少(前連結会計年度 13億9千5百万円 減少)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出10億9千1百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、5億1千万円の減少(前連結会計年度 5億4千7百万円 減少)となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加額2億9千8百万円、長期借入金の返済による支出6億2千3百万円、配当金の支払1億6千5百万円による資金の減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	39.3	34.5	36.4	37.8	38.8
時価ベースの自己資本比率(%)	31.8	22.5	16.0	12.3	14.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.4	△43.4	3.6	3.5	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	26.0	△1.9	14.0	16.0	17.7

自己資本比率 : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、経済活動の水準は、新型コロナ流行前を下回る状況が続く見通しで、当社を取り巻く事業環境の先行きは不透明な状況にあります。

素形材を主力とする当社グループの事業は、鉄鋼業界や自動車業界を中心に国内市場に大きく依存しており、現時点では厳しい状況が予想されますが、『誇り』をキーワードとした「第6次3カ年計画」に基づき、更なる品質向上、コストダウン、付加価値の創造に努め、経営基盤の強化を図ってまいります。

通期の業績見通しにつきましては、売上高204億6千万円(前期比 13.2%増)、営業利益7億1千万円(前期比 149.6%増)、経常利益5億7千万円(前期比 48.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億円(前期比 5.0%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益配分につきましては、企業の継続的発展と企業価値の向上を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。

配当金支払の目安として、配当の原資となる当期純利益(個別)を基準として配当性向30%を目標としております。

当期の配当につきましては、継続的な安定配当の基本方針のもと、財務状況・利益水準・配当性向などを総合的に勘案いたしまして、1株当たり20円としております。

また、次期の配当につきましては、1株当たり25円とさせていただきます予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,118	2,601
受取手形及び売掛金	8,177	7,814
電子記録債権	1,443	1,596
商品及び製品	1,161	1,220
仕掛品	1,202	1,070
原材料及び貯蔵品	928	773
その他	396	493
貸倒引当金	△90	△27
流動資産合計	15,337	15,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,874	8,088
減価償却累計額	△4,957	△5,181
建物及び構築物 (純額)	2,916	2,907
機械装置及び運搬具	20,535	21,187
減価償却累計額	△16,559	△17,028
機械装置及び運搬具 (純額)	3,975	4,158
工具、器具及び備品	5,105	5,603
減価償却累計額	△4,050	△4,254
工具、器具及び備品 (純額)	1,055	1,349
土地	1,220	1,220
建設仮勘定	295	197
有形固定資産合計	9,464	9,834
無形固定資産		
	218	229
投資その他の資産		
投資有価証券	1,567	2,119
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	—	1
その他	130	84
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	1,699	2,204
固定資産合計	11,382	12,268
資産合計	26,720	27,810

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,588	2,716
短期借入金	4,681	4,979
未払金	1,783	2,278
未払法人税等	23	29
賞与引当金	277	252
その他	417	903
流動負債合計	10,770	11,159
固定負債		
長期借入金	2,971	2,372
繰延税金負債	139	312
退職給付に係る負債	351	353
その他	21	357
固定負債合計	3,483	3,395
負債合計	14,254	14,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,213	7,333
自己株式	△55	△55
株主資本合計	9,763	9,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	776
繰延ヘッジ損益	△1	△4
為替換算調整勘定	77	113
退職給付に係る調整累計額	△120	29
その他の包括利益累計額合計	338	913
非支配株主持分	2,364	2,458
純資産合計	12,466	13,254
負債純資産合計	26,720	27,810

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	21,259	18,068
売上原価	17,998	15,419
売上総利益	3,261	2,649
販売費及び一般管理費	2,722	2,365
営業利益	539	284
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	46	43
雇用調整助成金	—	108
貸倒引当金戻入額	—	62
その他	62	91
営業外収益合計	110	306
営業外費用		
支払利息	135	118
支払手数料	56	35
その他	85	53
営業外費用合計	276	208
経常利益	372	383
特別利益		
投資有価証券売却益	33	—
国庫補助金	4	—
特別利益合計	37	—
特別損失		
投資有価証券評価損	312	—
固定資産圧縮損	4	—
特別損失合計	316	—
税金等調整前当期純利益	94	383
法人税、住民税及び事業税	38	40
法人税等調整額	61	△50
法人税等合計	100	△10
当期純利益又は当期純損失(△)	△6	393
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△108	107
親会社株主に帰属する当期純利益	102	285

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△6	393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	392
繰延ヘッジ損益	3	△3
為替換算調整勘定	△152	70
退職給付に係る調整額	△49	149
その他の包括利益合計	△316	609
包括利益	△322	1,002
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△139	860
非支配株主に係る包括利益	△183	142

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,002	602	7,277	△55	9,826
当期変動額					
剰余金の配当			△165		△165
親会社株主に帰属する当期純利益			102		102
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△63	△0	△63
当期末残高	2,002	602	7,213	△55	9,763

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	500	△5	155	△70	580	2,547	12,955
当期変動額							
剰余金の配当							△165
親会社株主に帰属する当期純利益							102
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△117	3	△77	△49	△241	△183	△424
当期変動額合計	△117	3	△77	△49	△241	△183	△488
当期末残高	383	△1	77	△120	338	2,364	12,466

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,002	602	7,213	△55	9,763
当期変動額					
剰余金の配当			△165		△165
親会社株主に帰属する当期純利益			285		285
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	119	△0	119
当期末残高	2,002	602	7,333	△55	9,882

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	383	△1	77	△120	338	2,364	12,466
当期変動額							
剰余金の配当							△165
親会社株主に帰属する当期純利益							285
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	392	△3	35	149	575	93	668
当期変動額合計	392	△3	35	149	575	93	788
当期末残高	776	△4	113	29	913	2,458	13,254

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	94	383
減価償却費	1,366	1,394
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22	△25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	36	△62
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	82	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	176	2
受取利息及び受取配当金	△47	△44
雇用調整助成金	—	△108
支払利息	135	118
投資有価証券売却損益 (△は益)	△33	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	312	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,307	776
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△100	233
仕入債務の増減額 (△は減少)	△743	△782
その他	△29	228
小計	2,533	2,112
利息及び配当金の受取額	47	44
雇用調整助成金の受取額	—	94
利息の支払額	△137	△117
法人税等の支払額	△269	△39
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,173	2,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,441	△1,091
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	45	—
貸付金の回収による収入	0	0
その他	2	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,395	△1,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,824	298
長期借入れによる収入	3,316	—
長期借入金の返済による支出	△5,365	△623
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△165	△165
非支配株主への配当金の支払額	△28	—
その他	△128	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△547	△510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	225	482
現金及び現金同等物の期首残高	1,882	2,108
現金及び現金同等物の期末残高	2,108	2,591

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「保険配当金」は、営業外収益の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度より「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「保険配当金」17百万円、「その他」45百万円は、「その他」62百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは事業の種類別に部門を配置し、各部門は取り扱う製品・サービスについてそれぞれ包括的な戦略を立案し、事業展開しております。

当社グループは、商品・製品の種類及び性質により区分されたセグメントから構成されており、「鋳物関連事業」、「環境関連事業」の2つのセグメントとしております。

「鋳物関連事業」は主に鉄鋼圧延用ロール、鋼塊用鋳型、自動車用金型鋳物、デンスパー（連続鋳造鋳物材）及び一般鋳物製品等の製造及び販売等に関する事業であります。「環境関連事業」は主に環境関連装置・機器等の製造及び販売等に関する事業、土木・建設工事の請負を取り扱っております。「その他」は主に機械製品等の製造及び販売等に関する事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,408	1,650	19,058	2,201	21,259	—	21,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1	1	△1	—
計	17,408	1,650	19,058	2,203	21,261	△1	21,259
セグメント利益	269	221	491	196	688	△315	372
セグメント資産	18,733	1,393	20,127	2,155	22,283	4,437	26,720
その他の項目							
減価償却費	1,241	0	1,242	104	1,347	19	1,366
支払利息	127	2	130	5	135	—	135
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,290	—	1,290	67	1,358	4	1,362

(注) 1 調整額は次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△315百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△284百万円、営業外収益が110百万円、営業外費用が△141百万円含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額4,437百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない全社資産4,443百万円が含まれております。全社資産には、当社の現金及び預金1,881百万円、投資有価証券1,567百万円などが含まれております。
 - (3) 減価償却費の調整額19百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額4百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,270	846	16,117	1,951	18,068	—	18,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	40	40	△40	—
計	15,270	846	16,117	1,991	18,108	△40	18,068
セグメント利益	329	52	382	122	504	△121	383
セグメント資産	19,455	769	20,225	1,882	22,108	5,702	27,810
その他の項目							
減価償却費	1,258	0	1,258	116	1,375	18	1,394
支払利息	111	1	113	5	118	—	118
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,716	—	1,716	67	1,784	5	1,789

(注) 1 調整額は次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△121百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△179百万円、営業外収益が132百万円、営業外費用が△74百万円含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額5,702百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない全社資産5,689百万円が含まれております。全社資産には、当社の現金及び預金2,435百万円、投資有価証券2,116百万円などが含まれております。
 - (3) 減価償却費の調整額18百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,047.91円	3,257.60円
1株当たり当期純利益	30.79円	86.18円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	12,466	13,254
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2,364	2,458
(うち非支配株主持分(百万円))	(2,364)	(2,458)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	10,101	10,796
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	3,314	3,314

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	102	285
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	102	285
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,314	3,314

(重要な後発事象)

該当事項はありません。